



平成30年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年9月10日

上場会社名 株式会社シャノン 上場取引所 東
 コード番号 3976 URL http://shanon.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 健一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理担当 (氏名) 友清 学 TEL (03) 6743-1551
 四半期報告書提出予定日 平成30年9月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年10月期第3四半期の連結業績（平成29年11月1日～平成30年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年10月期第3四半期	1,321	19.9	△71	—	△69	—	△70	—
29年10月期第3四半期	1,102	△1.5	△86	—	△99	—	△70	—

(注) 包括利益 30年10月期第3四半期 △71百万円 (—%) 29年10月期第3四半期 △69百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年10月期第3四半期	△51.10	—
29年10月期第3四半期	△53.15	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、平成29年10月期第3四半期及び平成30年10月期第3四半期は、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年10月期第3四半期	1,061	291	27.4
29年10月期	1,025	357	34.8

(参考) 自己資本 30年10月期第3四半期 291百万円 29年10月期 357百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年10月期	—	0.00	—	—	—
30年10月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年10月期の連結業績予想（平成29年11月1日～平成30年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,934	21.9	9	—	6	—	0	—	0.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年10月期3Q	1,389,250株	29年10月期	1,378,850株
② 期末自己株式数	30年10月期3Q	50株	29年10月期	50株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年10月期3Q	1,379,891株	29年10月期3Q	1,321,510株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが属するクラウドサービス市場においては、クラウドサービスを利用している企業の割合は引き続き上昇傾向にあります。総務省の平成29年「通信利用動向調査」によると、平成29年度末におけるクラウドサービス利用企業の割合は56.9%（前年46.9%）に拡大しており、半数を超える割合となりました。また、同調査によると、資本金規模別のクラウドサービス利用状況においても、資本金規模に関わらずその利用率は拡大傾向にあり、クラウドサービス利用の裾野が広がりを見せております。また、平成30年1月には株式会社アイ・ティ・アールが発行する市場調査レポート「ITR Market View：SFA／統合型マーケティング支援市場2018」において、当社グループが属する統合型マーケティング支援市場の2016年度の売上金額は107億7,000万円、前年度比60.7%増と大幅な増加となりました。統合型マーケティング支援への注目が近年急速に高まっている中、参入ベンダーの増加も相まって市場は急速な伸びを示しており、2017年度も同様の傾向が続き、前年同期比50.4%増と引き続き高い伸びが見込まれております。その中で、当社の統合型マーケティング支援サービス『シャノンマーケティングプラットフォーム』が、統合型マーケティング支援市場におけるベンダー別売上金額シェアで、7年連続（2010年度～2016年度）1位、統合型マーケティング支援BtoB向け市場におけるベンダー別売上金額シェアで、5年連続（2013年度～2017年度（予測））1位（出典：ITR「ITR Market View：SFA／統合型マーケティング支援市場2018」及び「ITR Market View：マーケティング管理市場2013～2017」）を獲得しております。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,321,886千円（前年同期比19.9%増）となりました。また、営業損失については、支払手数料を想定よりも低く抑えられたことや、採用進捗の遅れに伴い採用費や人件費の計上額が想定より低くなった一方で、売上が、受注や納品の遅れの影響もあり想定を下回った結果、当初の見込みよりも大きくなっております。これについては、期末に向けて挽回できるものと考えております。

当社グループはマーケティングプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報との関連についての記載はしておりません。サービス別の売上高の概況は以下のとおりであります。

a マーケティングオートメーション

当サービスにおいては、サブスクリプション売上（システム利用料（月額定額＋従量課金））は、おおむね順調に推移したものの、新規獲得の進捗は計画に対して遅れている状況となっております。しかしながら、解約額と当第3四半期連結累計期間に新規に獲得し、売上計上を開始したサブスクリプション（システム利用料（月額定額））を差し引きした純増額（アップグレード、ダウングレードは含めていない）は前年同期比238.7%の増加となりました。また、プロフェッショナルサービス売上については、受注や納品に遅れが発生したため、計画を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における契約アカウント数は、358アカウント（前期末比6.2%増）、当第3四半期連結累計期間における売上高は869,019千円（前年同期比6.2%増）となりました。

b イベントマーケティング

当サービスにおいては、前連結会計年度のリピート案件、新規案件ともに順調に推移しました。また、前連結会計年度の途中から発生しているイベントプロデュースに関連する案件の売上高も順調に推移しました。以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は452,867千円（前年同期比59.4%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は1,321,886千円（前年同期比19.9%増）、営業損失は71,411千円（前年同期の営業損失86,408千円）、経常損失は69,932千円（前年同期の経常損失99,273千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は70,509千円（前年同期の親会社株主に帰属する四半期純損失70,231千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、1,061,760千円（前連結会計年度末1,025,913千円）となり、35,847千円の増加となりました。このうち、流動資産は582,353千円（前連結会計年度末599,704千円）となり、17,351千円の減少となりました。この主な要因は、現金及び預金が11,025千円及び仕掛品が3,035千円減少したことによるものであります。また、固定資産は477,257千円（前連結会計年度末426,208千円）となり、51,049千円の増加となりました。この主な要因は、『シャノンマーケティングプラットフォーム』の機能強化の開発等によるソフトウェア及びソフトウェア仮勘定の増加48,019千円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、770,245千円（前連結会計年度末668,646千円）となり、101,598千円の増加となりました。このうち、流動負債は420,108千円（前連結会計年度末429,997千円）となり、9,889千円の減少となりました。この主な要因は、借入金が46,165千円減少、支払手形及び買掛金が12,838千円増加、社債発行により社債（1年内償還予定）が30,000千円増加したことによるものであります。また、固定負債は350,137千円（前連結会計年度末238,649千円）となり、111,488千円の増加となりました。この主な要因は、社債発行により社債が105,000千円増加、新規借入により、長期借入金が6,488千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、291,514千円（前連結会計年度末357,266千円）となり、65,751千円の減少となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が70,509千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年10月期の通期の業績予想につきましては変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	234,436	223,410
受取手形及び売掛金	262,303	268,678
仕掛品	24,622	21,586
その他	78,426	68,762
貸倒引当金	△83	△84
流動資産合計	599,704	582,353
固定資産		
有形固定資産	48,921	44,454
無形固定資産		
ソフトウェア	203,794	258,654
ソフトウェア仮勘定	42,522	35,681
その他	158	145
無形固定資産合計	246,475	294,481
投資その他の資産		
その他	140,837	148,347
貸倒引当金	△10,026	△10,026
投資その他の資産合計	130,811	138,320
固定資産合計	426,208	477,257
繰延資産	—	2,149
資産合計	1,025,913	1,061,760
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,152	71,991
短期借入金	—	29,150
1年内返済予定の長期借入金	173,208	97,893
1年内償還予定の社債	—	30,000
未払法人税等	4,381	5,141
賞与引当金	23,145	24,971
繰延税金負債	480	480
その他	169,629	160,480
流動負債合計	429,997	420,108
固定負債		
社債	—	105,000
長期借入金	238,649	245,137
固定負債合計	238,649	350,137
負債合計	668,646	770,245
純資産の部		
株主資本		
資本金	383,735	386,540
資本剰余金	304,447	307,252
利益剰余金	△332,554	△403,064
自己株式	△282	△282
株主資本合計	355,344	290,445
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,922	802
その他の包括利益累計額合計	1,922	802
新株予約権	—	267
純資産合計	357,266	291,514
負債純資産合計	1,025,913	1,061,760

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年7月31日)
売上高	1,102,091	1,321,886
売上原価	492,541	599,122
売上総利益	609,549	722,764
販売費及び一般管理費	695,958	794,175
営業損失(△)	△86,408	△71,411
営業外収益		
受取利息	74	87
助成金収入	400	4,158
生命保険解約返戻金	265	591
その他	190	912
営業外収益合計	930	5,749
営業外費用		
支払利息	3,659	2,554
社債利息	—	261
為替差損	1,089	1,215
株式交付費	5,580	—
株式公開費用	3,205	—
社債発行費償却	—	238
その他	260	—
営業外費用合計	13,795	4,270
経常損失(△)	△99,273	△69,932
税金等調整前四半期純損失(△)	△99,273	△69,932
法人税、住民税及び事業税	934	576
法人税等調整額	△29,976	—
法人税等合計	△29,041	576
四半期純損失(△)	△70,231	△70,509
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△70,231	△70,509

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年11月1日 至 平成29年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年11月1日 至 平成30年7月31日)
四半期純損失(△)	△70,231	△70,509
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	940	△1,119
その他の包括利益合計	940	△1,119
四半期包括利益	△69,290	△71,628
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△69,290	△71,628
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)

当社グループは、マーケティングプラットフォーム事業のみの単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年11月1日 至平成30年7月31日)

当社グループは、マーケティングプラットフォーム事業のみの単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。